

2018年9月27日

複数事業所で雇用されるものに対する 雇用保険の適用に関する検討会



短時間組合員総合局

UAゼンセンについて

- ・正式名称

全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟

- ・設立年

2012年11月(サービス・流通連合とUIゼンセン同盟の統合)

- ・組織現勢(第6回定期大会:2017年9月)

正社員組合員:732,686人	製造部門:227,040人
短時間組合員:993,670人	流通部門:1,001,027人
計:1,726,356人	総合サービス部門:498,275人

短時間組合員について

・主な雇用形態

パートタイマー、契約社員、派遣労働者、等

・推定週所定労働時間

30時間（2017年度組合員意識調査）

・毎月の賃金の平均値

110,573円（2017年度組合員意識調査）

・組織現勢昨年との比較

➡20時間以上30時間未満の短時間組合員が減少傾向

➡30時間以上、20時間未満の短時間組合員が増加傾向

→もともと就業調整をしている

→社会保険の適用拡大の影響か

複数事業における雇用の状況

- 組織として副業・兼業についての正式な調査は実施していない。
- 求人サイト上の「Wワーク歓迎」
スーパーマーケット／フードサービス（ファミレス、居酒屋、等）
ドラッグストア
- 短時間労働＋短時間労働を掛けもちしている組合員は存在
Ex. スーパーマーケット＋ホームセンター
 外食＋外食
 介護＋介護
- UAゼンセンの副業・兼業についての考え方
 ➡現在検討中
 →現に副業・兼業をしている組合員が存在
 →労働時間、安全配慮、労働・社会保険の整備など課題多

UAゼンセン意識調査から

・短時間組合員として働く理由

女性パートタイマーの約半数は「通勤時間が短い(51.3%)」「休暇が取りやすい(49.4%)」「異動や転勤がない(47.7%)」を選択(複数回答)。

→育児・介護など家庭の事情による生活時間の確保が上位か。

・不本意非正規(正社員として働けなかった)

短時間・派遣男女計で24.2%、男性では36.7%、女性では22.3%

短時間・派遣・独身女性では31.2%、シングルマザーでは30.9%

・所得税の年収調整状況

既婚女性短時間・派遣組合員で夫が正社員の場合、約3分の1が「休みなどを取って年収調整をしている(35.6%)」

年収調整している人でも「時給など賃金を上げてほしい(67.0%)」と
思っている。

→賃金・収入に対しての関心が高いと思われる。

・失業への不安

正社員組合員(58.8%)より短時間・派遣組合員(66.2%)のほうが失業することに不安を感じている

今の職場で今の働き方で働きたい、という人が約5割

→賃金面への関心が高いことに連動か

→「老後の備え」の満足度が正社員よりも低い

・職場で改善してほしいこと

「時給など賃金を上げてほしい」「経験等に応じて賃金を上げてほしい」「ボーナスを支給してほしい」「退職金を支給してほしい」がトップ4、続いて「能力にあった仕事をさせてほしい」「能力アップのための援助をしてほしい」～「能力アップできる仕事をしたい」(複数回答)

→賃金面とともに公正な評価や能力開発の支援を希望

・ひとり親